

「最愛」との出会い ルーツである日本での 第2の人生

足立 ネルマ さん

フィリピン共和国出身。

日本人の祖父を持ち、大学卒業後フィリピンで日本語を指導。
元農業研究者の日本人と結婚し、現在は日本とフィリピンとの架け橋として活動。



日本語能力に謙遜しながらも、流暢な日本語で受け答えるネルマさん

— 日本に来たきっかけは？

1991年にフィリピンで大学を卒業したんですが、仲の良い先生に勧められて日本語を勉強していたので、しばらくはフィリピンでその先生と一緒に日本語教師として働いていました。先生のお気に入りだったんです(笑)。フィリピンでは、日本語教師の仕事は、そんなに給料が良くなかったのですが、その時の給料で兄妹の学費を出すことができました。

1995年に国際交流基金が主催する2週間ぐらいの日本での研修があったんですね。ほとんど旅行みたいなものだったんですけど(笑)。それに参加して、初めて日本に来ました。それから、1998年にも埼玉で日本語教師の研修が10ヶ月ぐらいあって、長い期間滞在したのはそのときが初めてです。

— ネルマさんのルーツについて

私は祖父が日本人で、祖母がフィリピン人です。それで、お父さんがハーフ(日系2世)です。

祖父が福岡の出身なんですけど、国際交流基金のプログラムで来日しているとき、自由時間を使って福岡に行きました。費用は基金が出してくれて、私1人で飛行機と船、夜行バスを使って行きました。あのころは若かったもので、何でもできました。基金には感謝しています

— フィリピンでの思い出

フィリピンでの大学時代は化学を専攻していました。日本語の勉強は化学みたいでしたね。漢字は化学の記号みたいに覚えていました。私は7人兄妹なんですけど、みんなバラバラで、マレーシアか日本の他の県にいます。フィリピンに残ってるのは両親だけです。コロナ前は、兄妹が代わる代わる帰っていたんですけど、今は帰れないですね。両親はもう80代だからオンライン通話の使い方が分からないんですよ。遠い親戚の人に両親のことはお願いしてるんですけど、とても心配ですね。

— 福井の好きな食べ物は？

あのオレンジ色の果物。柿ですか？あれ好きですね。あと蕎麦も好きです。それと豆腐。あと、素麺と野菜の煮物。鍋でポン酢で食べるんですよ。何だったかな、あれ。忘れちゃった(笑)。うどんじゃなくて、まず素麺を茹でてから、それにいろんな野菜を入れて七味をかけるんです。冷やし中華ともちゃんぽんとも違います。フィリピンの食べ物じゃないです、日本の料理なんです。夫がまだ生きてるときに、義理の妹さん(夫の妹)が私たちの家に来て教えてくれたんですけど。すいません、忘れちゃった。分かったら教えてください(笑)。

— 福井の好きな場所は？

最近免許を取ったばかりなので、まだあんまり行けてないですね。私の行きたいところでもいい？なら、西山公園に行ってみたいですね。

夫が亡くなって、両親が福井に来たことがあります。そのときは免許を持ってなくて、連れて行ったのは近くのスーパーとかドラッグストアだったんですけど。スーパーまでの道で、田んぼがちょうど収穫の時期だったので収穫機が出てたんです。フィリピンでは人がやりますけど、日本は機械ですよ。父親がすごい興味を持っていたので、田んぼで作業をしていた人と話していました。

一 日本人の旦那さんとの出会いについて

夫は農業の研究者だったんですけど、定年退職してフィリピンに移住したんです。それで私と出会って、2007年に結婚しました。最初は、フィリピンのダバオで一緒に暮らしていたんですけど、2012年に夫が病気になり、夫の妹さんが住んでいた敦賀に引っ越しました。まあ居候ですね(笑)。病気の治療費も相当かかっていましたし、フィリピンにいたときは働いてばかりだったので、家事にも慣れていませんでした。

夫がガンで県立病院に入院することになったので、それに合わせて福井市に引っ越しました。冬が辛かったですね。フィリピンはずっと常夏なので、福井の冬は寒くて…。でも、夫の為なら頑張れました。本当に夫を愛していましたから。



フィリピンの伝統的なドレス「テルノ」を着るネルマさん

一 コミュニティリーダーについて

コミュニティリーダーは、県国際交流協会の人に誘われてなりました。敦賀市とか福井市にはお世話になったので。

コミュニティリーダーになって、Facebookのメッセージでフィリピン人のグループを作りました。45人ぐらいいますね。友達の友達も参加しているので、会ったことのない人もいますけど。情報交換とかできるので便利です。

一 リーダーとしての活動は？

いつも翻訳と通訳をお願いされます。だいたい友達なのでタダでやってますね。病院に関する事とか、金銭関係で騙されたとかです。上司に頼み事をしたいけど、日本語でどんな風に言えばいいかわからないなどの相談もありますよ。金銭のことについては、私がいつも年金事務所に電話して、必要な書類を翻訳します。弁護士に通訳や翻訳を依頼される場合は、いくらか頂けます。

一 リーダーとして大変なことは？

フィリピン人があんまり協力してくれないんですよ(笑)。イベントで盛り上がりたいたけど来てくれないとか。どうしたら、興味を持ってもらえるのかな。

あと、友だちに日本語を勉強しようといつも言うてるんですけど、3年ぐらいでフィリピンに帰るから勉強しないって言われるんです。今、日本語を勉強したら、フィリピンに帰っても通訳として働けるから収入も得られるよって言うんですけど、日本語に興味はあっても、勉強する人は少ないようです。せっかく日本に来てるんだし、国際交流会館で安く勉強できるんですけどね。

一 現在の生活について

弟が三重で仕事をしているので、私が姪たちの面倒をみています。今度高校生になるんですが、最初は日本語が話せなくて、クラスメイトに意地悪されたこともありましたが、最近やっと日本語を話せるようになりました。

納豆を姪たちに毎日食べさせています。私も最初は納豆が嫌いだったんですけど、夫に「食べられないと日本人になれないよ!」と言われて、私日系フィリピン人なんですけどね(笑)。

最近、姪の宿題が教えられないんです。数学の用語?公式?がフィリピンとは違うので。日本の学校はフィリピンよりも恵まれてますね。私が子どもの頃のフィリピンはとても貧しかったので、理科の実験道具も数が足りなくて、それでいて生徒の数も多かったので優秀な生徒だけが実験できるんですよ。交代(時間差)で学校に行ったりもするので、たまに夜に帰る子もいます。優秀な子はいろんな経験ができるからとてもラッキーでしたけど、できない子は想像するかの写真を見るだけでした。



フィリピンでの経験を生かし、フィリピンの教育事情について講義されるネルマさん(特非)フィリピンナガイサ)

一 これからは？

夫が2017年に病気で亡くなったので、健康に気をつけたいです。今は野菜中心の生活をしたいと思っています。値段は高いけど、有機野菜を選びたいですね。翻訳とか通訳だけでは仕事にならないので、「食」のために働いてお金を稼げるようになるのが目標です。

《ネルマさんの旦那さん》足立 恭一郎 先生(農業経済学・農学博士)

(著書)有機農業で世界が養える(コモンズ 09年)、二つの国のネルマ(文芸社18年)、年金deリッチに暮らすinダバオ(星雲社15年)など

インタビュー日：2021年3月19日

◎ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。詳しくはこちら⇒

